

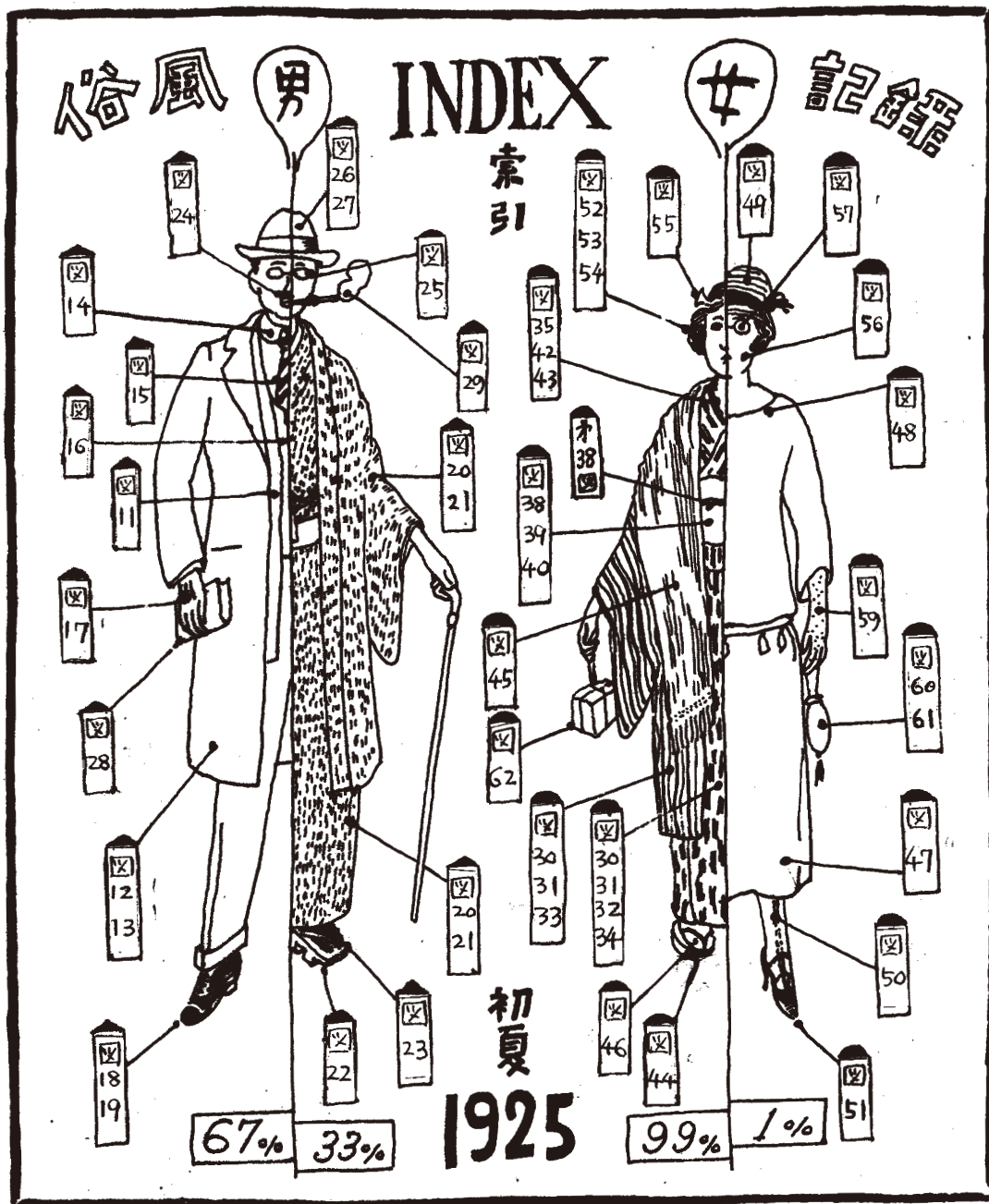
2011年10月29日(土) ~ 12月11日(日)

開館時間：9:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで) 休館日：11月14日(月)・11月28日(月)

今和次郎

採集講義

展



観覧料：一般 1,000 (800) 円 高校・大学生 600 (480) 円 小・中学生 200 (160) 円

※( ) 内は 20 名以上の団体料金。 ※心身に障がいのある方と付添者 1 名は無料。

※小・中・特別支援学校の児童生徒及び引率者が、学校教育活動として観覧する場合は無料。

主催：今和次郎展実行委員会 (青森県立美術館、青森放送株式会社、社団法人青森県観光連盟、青森公立大学 国際芸術センター青森、社団法人青森県建築士会 青森支部)、  
読売新聞社、美術館連絡協議会

特別協力：工学院大学図書館

協賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン

後援：社団法人日本建築学会、社団法人日本建築家協会、社団法人全日本建築士会、青森県統計協会

協力：パナソニック電工 汐留ミュージアム、青森オフセット印刷株式会社

上野公園  
労働者 露台利用  
休息状態  
21名の風俗 しらべ

青森県立美術館

AOMORI MUSEUM OF ART

KON MAJIRO

身分別

# 今和次郎 採集講義 展

2011年10月29日(土)～12月11日(日)

開館時間：9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館日：11月14日(月)・11月28日(月)

青森県弘前市に生まれた今和次郎(1888-1973)は、昭和初期の急速に大都市化していく東京の街の様子や人々の生活の変化を採集(観察し、記録する)・分析した「考現学」の創始者として知られています。また、民俗学者の柳田國男らがつくった民家研究会「白茅会」の活動に参加したことをきっかけにはじめた民家研究の分野でも重要な足跡を残しました。

一方、関東大震災直後の街頭に出て、急ごしらえのバラック建築をペンキで装飾した「バラック装飾社」の活動や積雪地方の暮らしを快適にするための試み、村の共同作業場の設計などに携わった建築家・デザイナーでもありました。さらに戦後になると、日常生活を考察する「生活学」や「服装研究」といった新しい学問領域も開拓していきます。こうした幅広い領域にわたる活動の根底には、都市と地方を行き交いながらさまざまな暮らしの営みを「ひろい心でよくみる」ことをとおして、これからの暮らしのかたちを、今を生きる人々とともに創造しようと模索し続けた今和次郎の生き方がありました。本展は、工学院大学図書館の今和次郎コレクションに所蔵される膨大かつ多彩な資料の中から、スケッチ、写真、建築・デザイン図面等を展示する他、本展のために制作された模型や再現映像をとおして今和次郎のユニークな活動を紹介する初の本格的な回顧展です。



街中の今和次郎



左から 1.卒業制作「装飾圖案十八・6」1912年/東京藝術大学所蔵 2.「雪に埋れる山の村の家(新潟県中頸城郡関川)」1917年 3.「配列された植木鉢(東京府西多摩郡日原)」1922年 4.今和次郎・吉田謙吉「銀座のカフェー服装採集1」1926年 5.「新時代の生活方向 家庭の各員の生活マヂノ線を防備しませう②主人」1940年 表面：「東京銀座街風俗記録統計図索引」1925年 [2~5、表面/工学院大学図書館所蔵]

## 関連イベント

朗読会+スライド上映会「今和次郎 ことばとまなざし」 ※無料・予約不要  
日時：10月12日(水)19日(水)26日(水) 各日18:00～19:00  
場所：ギャラリーNOVITA(青森市) ※12日～26日は展覧会関連展示もあります。  
出演：青森県立美術館ドラマリーディングクラブ

ワークショップ「考現学ごっこしよう！」 ※無料・要申込  
日時：10月22日(土)13:30～17:00、23日(日)13:30～17:00  
場所：22日ギャラリーNOVITA(青森市)、23日弘前市まちなか情報センター(弘前市)  
対象：小学4年生～中学生 定員：各10人 講師：南仲坊(路上観察学会員)

トークセッション「今和次郎・考現学の愉しみかた」 ※無料・予約不要  
日時：10月23日(日)10:00～12:00  
場所：弘前中央高校講堂 講師：南仲坊(路上観察学会員)・中村好文(建築家)

橋本尚恣のオープンアトリエ(版画) ※無料・予約不要  
12/3(土)～12/9(金)10:00～16:30 講師：橋本尚恣(美術家)  
場所：青森県立美術館ワークショップ ※時間内出入り自由

詳しくは青森県立美術館HPをご覧ください。

## 関連展覧会

青森公立大学 国際芸術センター青森(青森市)「再考現学/Re-Modernologio」  
phase2:観察術と記譜法 10月23日(日)～12月18日(日)  
4人のアーティスト(富井大裕、朝海陽子、丹羽良徳、バル・ペーター)が「考現学」をキーワードに滞在制作により作品を制作し、展覧会を開催します。

青森県立郷土館(青森市)「今純三と考現学展」10月28日(金)～11月27日(日)  
兄・和次郎の依頼により始めた青森県内の考現学採集を、次第に消化・吸収し自らの作品に反映させていった画家・今純三の作品を当時の資料等とあわせながら、紹介します。

## 同時開催

秋のコレクション展  
10月15日(土)～12月11日(日) ※別途観覧料が必要となります。  
今和次郎展関連企画として、マンホールの蓋のデザイン研究や靴底に挟まった小石の収集など、“現代版”考現学を実践するイラストレーター・林文二の展示コーナーや榎方志功、奈良美智など青森県ゆかりの作家たちの作品を楽しむことができます。

お問い合わせ：今和次郎展実行委員会事務局(青森県立美術館内)  
〒038-0021 青森市安田字近野185 Tel:017-783-3000 Fax:017-783-5244  
PC: <http://www.aomori-museum.jp/> E-mail: [bijutsukan@pref.aomori.lg.jp](mailto:bijutsukan@pref.aomori.lg.jp)

## アクセス

- JR新青森駅からルートバスねぶたん号(左回り)新青森駅南口バス停乗車「県立美術館前」下車(約10分)
- 青森駅から青森市営バス青森駅前6番バス停乗車、運転免許センター行き「県立美術館前」下車(約20分)
- 青森空港から車で約20分
- 東北縦貫自動車道青森I.C.から車で約5分



青森県立美術館  
AOMORI MUSEUM OF ART

